

2016年 明けまして おめでとう ございます



新年明けましておめでとうございます。昨年には皆様には大変お世話になりました。御支援に感謝し、がんばってまいりました。本年もがんばります。

戦争法の成立は大きな衝撃を日本だけでなく、世界に与えました。成立するや「経済中心」と豹変。消費税の長かった軽減税率論議も「選挙対策」の誇りを受けています。

「アベノミクス」は「流した汗のむくわれる社会を」創ってくれるのか？ 福島原発事故の反省もなく、再稼働を推し進める政権に国民は怒っています。

批判者なき国・自治体は、腐敗し市民生活を食い物にします。日常の批判は、戦争を止める力となります。

「心地よき、権力のイス、民衆忘れ」

教育長へ無所属クラブが申し入れ 教育事業団人権事件処分の再考

昨年、議会終了の明るる日（12・15）に、無所属クラブとして教育長へ申し入れをしました。事件当事者の理事長は、理事・行政部長職（平成21～25年）で停職7人を含む懲戒処分42件に関り、停職7人中の最長は50日。約2ヶ月の給与カット。一時金や昇給にも影響したと思われます。過去・現在ともに人事・研修の最高責任者が事件当事者となったことが社会問題として大きく扱われました。「自主返上0.5月分」処分が「軽すぎる」との市民の声が届けられています。教育委員会へは理事長の経験と職責に相当する処分実現を「事業団へ指導すること」を申し入れました。

連絡先 市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

不適切面接で 処分再考要望

岐阜市議会
無所属クラブ

岐阜市議会の会派「無所属クラブ」(松原徳和代表、4人)は15日、市教育文化振興事業団による嘱託職員採用面接で市内に住む在日韓国人の男性に不適切な質問をした問題にからみ、市教育委員会が事業団に対して理事長の処分

の再考をつながず指導をするよう、早川三根夫教育長に申し入れた。

事業団は9日の臨時理事会で理事長の処分として役員報酬1カ月分の5割を自主返上させることを決めたが、無所属クラブは「軽すぎる」という市民の声が届けられている」と主張。理事長は、市行政部長在職中に人事研修の最高責任者だったことから、過去の経歴も加味した処分を出すべきだ」とした。
(古家政徳)

心配ごと があります

薬大の前学長の関する裁判で岐阜市が高裁で負けました。百万円を相手方に払うことになりました。

確定すると、市が前学長に百万円を請求することになると思われました。が、岐阜市は12月22日に最高裁へ上告の申し立てをしました。最高裁が認めれば裁判が始まりますが、門前払いになると・・・。2015年4月に、前学長は岐阜市の教育委員長に就任しています。教育長は、新聞報道まで前学長が裁判中である事を知らされていなかったとの事です。裁判内容はパワハラ事件です。パワハラは伊藤哲さんの公務災害裁判中(本年判決予定)ですし、市民病院の公務災害事案も裁判になりそうです。



松原のりかず
☎058-253-2500